

ヨギーとは英語でヨガをする●女性のこと

for tasty life
エイムック1977

vol.24

ヨガでシンプル・

ビューティ・ライフ

ヨガと生きている自分に気づく



特集

気づきと ヨガの 素敵な関係

バンダを理解するとヨガは深まる

Yoginiへの扉「バリでヨガする!?」

「ヨガのイベント津々浦々!」

ヨガウエア着まわしファッション21スタイル

新連載「Yogini Natural & Food Life」

インタビュー・ビクトリア・ブーテンコ氏

「グリーンスムージーの奇跡」

ズームから文化へ「外国人先生が作るヨガネットワーク」

流派 通信

Yogini 編集部が
現場の声をお届け!

3

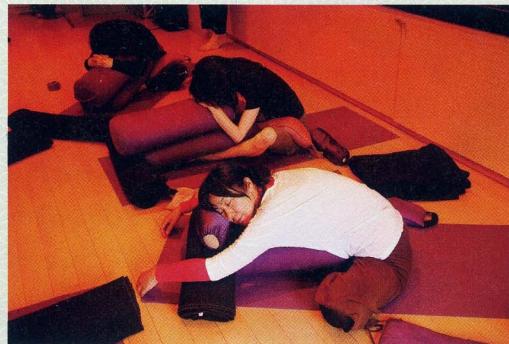
誰かと比較しない、判断しな

リストラティブヨガ Restorative Yoga

「この時間よ永遠に!」と心底思う

本 誌の編集まっただ中に行なった取材。神様からの贈り物のような時間だった。ボルスターを使って自分の体にぴったりの形を作り、身をゆだねる。一つひとつの形にはポーズ名もあるし、目的もある。けれど、そんな理屈は思い出さない。ストレスとプレッシャーで硬くな

った体を、ボルスターは癒してくれる。胸をこんなに開けるなんて、こんなにそけい部が開けるなんて。終わった時は、言葉を話さないようにと言われているので、みんな片づけるとすぐに帰っていった。でも、よくわかる。静かな心になつたら、黙っていたいもの。(オーシマ)



1



2



3

1: ボルスターに寄りかかるて腰を伸ばす。身のゆだね方は人それぞれ。自分が気持ちいいところを探すのだ 2: リザ・ロウイット先生が目的の場所をより伸ばしてくれる 3: みんな気持ちよさそう!

DATA

Sun and Moon Yoga
<http://sunandmoon.jp/>

東京都品川区上大崎 3-1-5
目黒駅前マンション東口ビル 204
☎ 03-3280-6383

ニード

*開講日程は
各種トレ

ヨガ・

ヨガインス

1からトーカ

東京 スタジ

横浜 スタジ

大阪 スタジ

受講料: 150,0

アドヴ

哲学・呼吸法
ベーシック
を学びます。

名古屋 スタ

アヌサ

プレ

アヌサラヨ
ギー...レッ

ホームザラ 文化へ

第十七回



オーストラリア出身のディラン先生（左から二人目）。クラスの後にはティータイムを設け、生徒同士の交流を図る



イングリッシュ・スピーカーのヨガ講師が集うコミュニティサイト、HelloYoga。クラス情報の他、インタビュー記事も満載。<http://www.helloyoga.com/jp/>

外国人ヨガティーチャーが ジャパニーズヨガに もたらすものとは？

ここ数年、日本で教える外国人ヨガティーチャーが増えている。先生達がこの国を選ぶのはなぜ？ 私達が外国人ティーチャーから学べることとは？ そんな現状をレポート！

文=松田可奈 協力=廣江淳 (<http://www.yoga-hiroe.com/>)

国籍や文化を超えて。
「ヨガ＝つながること」を実感

5月22日。東京・表参道で『HelloYoga.com Party』が開かれた。国籍もさまざまな約150名のヨギーが集い、

ヨガのデモストレーションやマクロビーフードを楽しんだこのイベントは『HelloYoga.com Party』（以下、HY）のオフ会。HYとは、「英語でヨガ指導ができる」

東京在住のインストラクターのクラスやワークショップ情報を、英語と日本語で紹介するヨガのポータルサイト。13年前にビジネスのため来日し、2年前からヨガ講師としても活動するディラン・ロバートソン先生が「在京外国人や日本を訪れる外国人観光客のため

に、英語で受けられるクラスの情報を発信したい」と立ち上げた。

2年目を迎えた現在は約40名のヨガティーチャーが登録。一日に約200名のアクセスがあり、国籍を超えて人と情報をつなぐ場としてジャパニーズヨガの一つの柱となりつつある。「07年に来日し、大学講師を務める傍らヨガを教えていたタミー・フット先生もHYのネットワークを活用した一人だ。

「海外に暮らすと同じ言葉を話す者同士が集まりやすいけれど、私はヨガという同じ価値観を持つ人と交流がしたかった。今はHYで出会った仲間と一緒に着物をほどいてチャリティ用の GAMMA T-SHIRTを制作しています」

外国人向けに始まったHYだが閲覧者の90%は日本人だという。外国人講師や英語に興味のある人から、海外で

ヨガを学びたい人、英語でヨガを教えるたいインストラクターまで目的はさまざま。ディラン先生の「英語でヨガ」クラスにもそんな多彩な顔ぶれが集う。「友達を作りたくて来られる人も多いですね。外に向かって発信していく文化を持つ西洋人は、コミュニケーションを作るのが上手だから。東京のヨガスタジオでは、隣のマットの人と話をしない人も多いけど、本当はみんなひとつながりたいはず。クラスの後には必ずみんなでお茶をしたり、HYのパーティを開いたのもそんな理由からです」

*

*

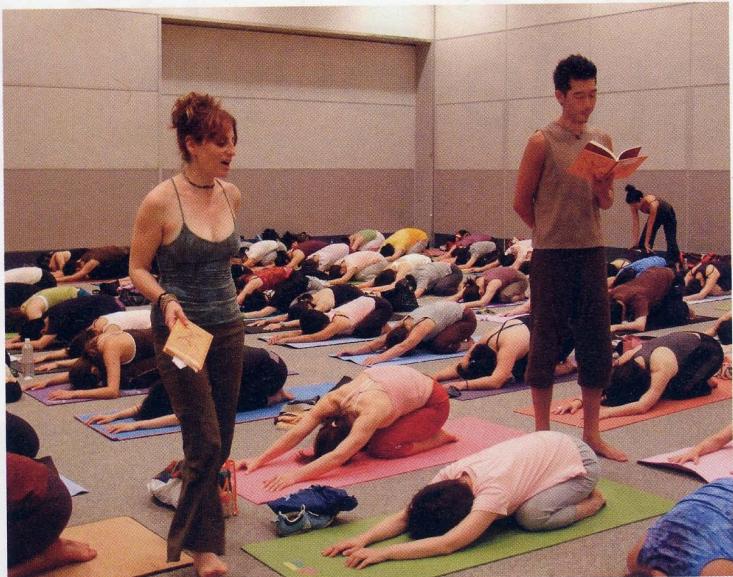
*

*

「仕事や夫の海外赴任で来日し、ライワークとしてヨガを教える女性が増えています。そうではなく本業として教えている場合は、自国にいるより稼げるから、というのも理由の一つ。歐米の大都市など一流の先生があふれているヨガ先進国に比べ、普及の過程にある日本では外国人というだけで特別視され、そこそこ生徒が集まります。でも一番は、日本人は真面目で優しく、歐米よりも素直に話を聞いてくれること（笑）。教えがいがあるし楽しいと多くの先生が言いますね」

一方、女性を中心としたヨガが広まり始めた03年ごろに来日した、先駆

1



3

2

1: 2004年の第1回ヨガフェスタからレギュラーを務めるリザ先生（左）。参加費をNPO「ヨガ古文書保存プロジェクト」に寄付する歌（キルタン）の集いを定期的に開催 2: ニーマル先生が日本で初めてクラスを持った東京ヨガセンターで 3: '08年秋、ニーマル先生（左）のスタジオオープニングパーティを訪れた、東京ヨガセンターの羽成孝先生（右）とヨガジャヤのパトリック・オアンシア先生



英語とヨガを同時に学べるディラン先生のレッスン。ヨガはもちろん英語もレベル別になっているので英会話初心者も安心。詳細はHelloYogaにて



南アフリカ出身のタミー先生。<http://www.barefootbliss.blogspot.com/>

者、もいる。同年から東京でヨガを教える二ーマル・ラージ・ギャフリ先生は日本に来た理由をこう話す。

「ヨガは練習をすれば必ず結果が出るもの。だから言われたことに真摯に取り組む日本人は体や心の状態がどんどんよくなり、健康、幸せ、悟りといつたヨガの目的に近づいていく。ネバーラのアシュラムでそんな日本人の生徒さん達を見ていてすごくうれしかったし、そういう国の人達にもっとヨガを知つてほしいと思つたんです。実際に来てみると日本は想像以上に素晴らしい。尊敬や愛を伝える美しい言葉がたくさんあるし、シンプルであることで、本当の自分でいることの大切さなど私も多くのことを教わりました。それには日本人には忍耐力や自己鍛錬の精神がある。ヨガの八支則のヤマとニヤマがすでに備わっているんです。空海など悟りを開いている人も多く、私を含め海外から先生が来る必要はないと思うほどヨガが浸透しています」

カリフォルニアでスタジオを経営していたリザ先生が、目黒にサン&ムーンをオープンしたのも'03年。日本人の夫が故郷に戻りたいと言つた時、以前、瞑想の最中に聞いた「東京でヨガスタイルを開きなさい」という声を思い出したのがきっかけだそう。

「以前にも東京で暮らしたことがあり、この忙しい街に戻るのはあまり気が進まなかつた（笑）。でも時間に追われている人が多いからこそ、リラクセーション効果の高いリストラティブヨガを広めたいという思いもありました」

文化の垣根を越えて定着しつつある。また、ここ数年はヨガエイドに参加したり、病院で無償のヨガ教室を開くなど、慈善活動を行う日本人ヨギーが増えている。「ヨガで自分が健康になつた次の段階として、『人のためにして』とみんなの意識が広がつてきていることが大きい」とリザ先生は言うが、外国人ティーチャーという伴走者であつてこそその進化とも言えるだろう。

*

*

*

*

控えめで眞面目と称されるニップン人は、ともすると自分の殻に籠もつたり不完全な自分を責めたりしかだ。対して外国人ティーチャーはオープンマインドで、自分に足りないところがあつても、今この時^をを楽しめている人が多いよう^に映る。ヨガに真摯に取り組む日本人のよさを生かしつつ、そんな外国人ティーチャーのエッセンスを取り入れれば、私達のヨガは次のステージへ上がるかもしない。

来日当初から、日本ではなじみのなかつたコミュニティクラス（参加費を通常の1/3に設定し、全額チャリティに寄付するクラス）や人と一緒に行うパートナーヨガも導入。「歐米比べてチャリティの歴史が浅く、他人と触れ合つことに慣れていない日本人には受け入れられない」との声もあったが、「国籍や言語、文化が違つても同じ人間だし、人として求めるものは同じ。それに、そうした自分と他者を隔てるものを取り除くことこそヨガの目的の一つ」。そんな信念に基づき、地道に活動を続けてきた。今、それらは